

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、協議会とユニバーサルデザインフードにとりまして、大変大きな指標を得た一年でありました。これは、会員企業数、商品登録数、及び生産量・金額の増加に顕著に表れました。会員企業数については、昨年当初より8社が新たに加入し58社となりました。商品数については現在1,100品を超える品目が登録され流通しています。さらに、生産金額については、100億円を超え（2012年・日本介護食品協議会調べ）なお年率2ケタの成長を続けているところです。

さて、昨今大きく動いている介護食品業界をとりまく主な状況についてご紹介します。まず、関連する主要な学会である「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会」では、このほど「嚥下調整食学会分類2013」をまとめ、発表いたしました。これは、ユニバーサルデザインフードの他、わが国で利用されている食事に関する複数の主な基準（嚥下困難者用食品、嚥下食ピラミッド等）について、横断的に参照できるよう整理された新たな基準です。これにより、例えば、ユニバーサルデザインフードの区分が他の基準のどのレベルに相当するのかについて参照が容易なため、今後、実際に食事を提供する病院や施設での混乱が解消されていくものと思われます。同時に、商品に区分が明記されているユニバーサルデザインフードは、その利用しやすさからますます取扱いが増えて行くことが見込まれます。

また、農林水産省が新たに「介護食品のあり方に関する検討会議」を発足しています。ここでは介護食品の「定義」、「認知度向上」、「提供方法」、

「社会システム構築」といったテーマについて、産官学で取り組み、考え方をまとめていこうとするものです。これにより、今後介護食品が在宅の利用者の皆様に対して受け入れられやすくなるような仕組みが整っていくことが期待されます。

協議会では、今後ますます増加すると思われる利用者の皆様にとって、より良い環境が整備され、かつ業界がさらに発展していけるよう、このような動きと連動しながら今後も会員企業とともに努力していく所存です。

最後になりましたが、関係各位へ一層のご支援ご協力をお願いするとともに、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成26年元旦

日本介護食品協議会 会長 古舘正史

【会議、催事等の予定】

1月31日（金）平成25年度事業進捗状況報告会・委員懇親会（榊明治会議室）

【UDF 商品登録状況（1,152品目・11月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	0	8	0	54	62
冷凍食品	156	72	458	12	0	698
常温食品	67	84	168	72	1	392
合計	223	156	634	84	55	1,152

【会員の異動（11月）】

計58社（11月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

（公社）日本缶詰協会の内

TEL 03-5256-4801

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>